

# 【業務効率化】 送迎計画の「ホワイトボード&ICT」活用

成果

業務の質の向上

量的な効率化

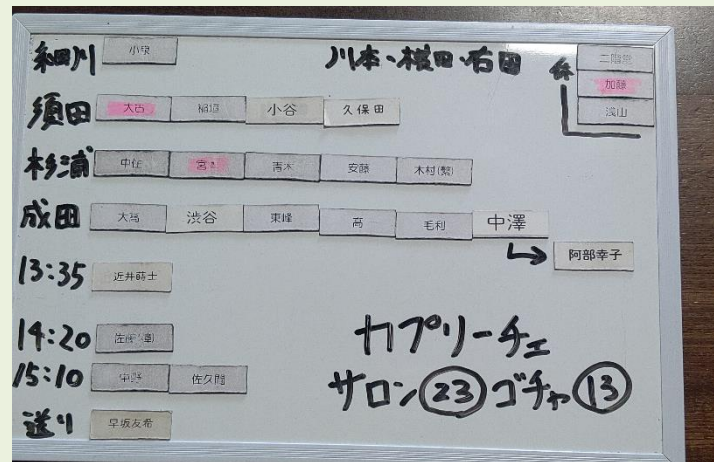
送迎計画が短時間で計画できるようになり、職員全員での情報共有がしやすくなった。

## 課題

送迎計画の立案に時間がかかり、職員同士での情報共有が徹底せず、送迎対応の運用が管理者の負担になっていた

## 解決の仕方

ホワイトボードとマグネットを活用し送迎計画を作成し、ホワイトボードを撮影した写真をワークスに投稿することで、関係者全員で送迎状況を確認できるようになった。



# 【業務効率化】 物置を片付けて作業場

成果

業務の質の向上

作業スペースが確保でき安全に作業できるようになった

量的な効率化

課題

利用者増とともに作業スペースが手狭になり、作業効率が下がっている。

解決の仕方

物置として使っていた部屋を片付け不用品を処分するなどして、適切な作業スペースを確保した。

改善前

改善後



# 【業務効率化】 新人ケアマネージャーの記録作成支援のための ICT活用

## 成果

業務の質の向上

ケアプランの記録を正確に残す

量的な効率化

ケアプラン作成時間を短縮する

## 課題

新人ケアマネージャーが書類作成に時間かかり、同時に記録漏れなども発生しており、記録作業の質と量の両面を早急にレベルアップすることが必要。

## 解決の仕方

利用者との面談を音声記録し、その音声記録を自動文字起こしツールを使用し、面談記録として保存する。

# 【人材育成】 管理者の指導力向上

成果

業務の質の向上

管理者の新人職員に対する指導指導力の向上

量的な効率化

課題

共生型サービスを提供するための考え方や指導方法のポイントの理解が難しく、言語化できていなかったため、管理者が適切に新人職員指導ができなかった。

解決の仕方

考え方のポイントを整理し、wellbeingや幸福学、ティール組織などの知見も引用し、自社の取り組みを言語化し、新人職員にもわかりやすく伝えることができるようにした。

また、管理者との定期的な1on1 を実施し、推進する上で困っていることを共有し、対話を通して課題を解決手法もOJT形式で伝達した。

社内研修  
資料添付

# 【理念浸透】 外部講師による研修会

## 成果

業務の質の向上

共生型サービスについての理解を深め、モチベーションを向上させる

量的な効率化

## 課題

「共生型」サービスの認知度が低く、お手本がないため、職員の中に「迷い」や「不安」が生じやすい。自分たちの実践を客観的に捉えるチャンスが少ない中で、自律的に目標を設定することが難しく、モチベーションを維持するのが難しい。

## 解決の仕方

全国的にも先行する共生型サービスの提供者である石川県佛子園の雄谷理事長、「ケアする街のデザイン」の著者でコミュニティデザイナーの山崎亮氏を招いて研修会を実施し、共生型地域福祉について理解と知見を深め、モチベーションを向上させる

